

# 地理歴史・公民・数学

(1～40ページ)

## 注 意

- 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- この問題用紙には、次の4科目の問題が収められています。
 

政治・経済(1～14ページ)

日本史(15～24ページ)

世界史(25～32ページ)

数 学(33～40ページ)
- 4科目の中から1科目を選択し、解答は解答用紙にマークしなさい。解答用紙は4科目共通なので、科目によっては使用しない解答欄があります。
- 解答用紙に受験番号・氏名・選択科目を記入しなさい。
 

受験番号と選択科目は、下記の「受験番号欄記入例」「選択科目欄記入例」に従って正確にマークしなさい。
- 試験時間は **60分** です。
- 試験開始後、問題用紙に不備(ページのふぞろい・印刷不鮮明など)があったら申し出なさい。
- 問題の内容についての質問には、いっさい応じられません。

解答用紙の受験番号欄記入例・選択科目欄記入例

数字の位置	受 験 番 号				
	万	千	百	十	一
	2	/	9	0	/
0	0	0	0	●	0
1	①	●	①	①	●
2	●	②	②	②	②
3	③	③	③	③	③
4	④	④	④	④	④
5	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
6	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
7	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
8	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
9	⑨	⑨	●	⑨	⑨

数字の位置に注意してマークしなさい

「日本史」を選択した場合

選 択 科 目			
○	●	○	○
政治・経済	日本史	世界史	数 学

必ずマークしなさい

### マーク式解答欄記入上の注意

- 解答は、HBの黒鉛筆を使用して丁寧にマークしなさい。
 

《マーク例》

良い例 ●

悪い例 ○ ○ ⊗ ○ ○
- 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで、きれいにマークを消し取りなさい。
- 所定の記入欄以外には、何も記入してはいけません。
- 解答用紙を汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

# 世界史

I 次のA、Bは、それぞれ中国史に関するa～dの短文から構成されている。各短文を読み、**1**～**10**の問いに答えなさい。

A

- a 孫権が<sup>1</sup>建業を都として江南に建てた呉が滅んだ。
- b 劉備が成都を都として四川盆地に建てた蜀が滅んだ。
- c **2**が魏にかわって<sup>3</sup>晋(西晋)を建てた。
- d 曹操の子である曹丕が、後漢から政権を奪って<sup>4</sup>魏王朝を樹立した。

**1** 下線部1の都市の現在の呼称として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 武漢市 | 2. 西安市 | 3. 南京市 | 4. 上海市 |
|--------|--------|--------|--------|

**2** 空欄**2**に該当する人物に関する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。

すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

- 1. この人物は、魏の皇帝の外戚であった。
- 2. この人物は、魏の皇帝に仕える将軍であった。
- 3. この人物は、魏の皇帝に仕える宦官であった。

**3** 下線部3の王朝に関する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが

誤っている場合は0をマークしなさい。

- 1. この王朝の都は、長江中流域に位置する洛陽におかれた。
- 2. この王朝では、呉楚七国の乱とよばれる諸王たちによる内乱がおこり、支配体制がゆるんだ。
- 3. この王朝は、自作農に土地を確保させるために、占田・課田法を発布した。

**4** 下線部4の王朝に関する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが

誤っている場合は0をマークしなさい。

- 1. この王朝に朝貢の使節をおくった倭の女王卑弥呼は、皇帝から王として冊封され、倭奴国の王の金印を賜った。
- 2. この王朝の時代には、西方との交流がさかんになったため、西域経由でマニ教・回教・景教が伝来し、それらの寺院が建てられた。
- 3. この王朝のはじめた九品中正(九品官人法)は、宋が科挙を開始するまで実施されたため、長期にわたって門閥貴族が中央政治の実権を掌握することになった。

- 5 前ページ上の a～d の短文の出来事を、左から古い年代順に並べるとどのような順序になるか、次の 1～6 の中から 1 つ選びなさい。

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. a→b→d→c | 2. a→d→c→b | 3. b→a→d→c |
| 4. b→d→c→a | 5. d→b→c→a | 6. d→c→b→a |

B

- a 北魏の孝文帝が、485年に均田制を実施した。  
 b 西域出身の仏図澄や鳩摩羅什が華北で仏教の布教につとめた。  
 c 北魏の太武帝が [8] を信任し、道教を国教化した。  
 d 昭明太子が古来の優れた詩文を集めて、[9] を編集した。

- 6 下線部 6 の人物に関する説明として最も適切なものを、次の 1～3 の中から 1 つ選びなさい。すべてが誤っている場合は 0 をマークしなさい。

- この人物は、五胡を中心とする諸政権が興亡を繰り返して分裂していた華北を統一した。
- この人物は、中華文明の制度や習俗を積極的に取り入れる漢化政策をとった。
- この人物は、都を洛陽から平城に移し、華北全域におよぶ支配体制を確立した。

- 7 下線部 7 に関連して、この宗教が中国に伝来したとされる時代として最も適切なものを、次の 1～4 の中から 1 つ選びなさい。

- |         |         |       |       |
|---------|---------|-------|-------|
| 1. 春秋時代 | 2. 戦国時代 | 3. 秦代 | 4. 漢代 |
|---------|---------|-------|-------|

- 8 空欄 [8] に該当する最も適切な人物を、次の 1～4 の中から 1 つ選びなさい。

- |        |        |       |        |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 寇謙之 | 2. 董仲舒 | 3. 法顯 | 4. 王重陽 |
|--------|--------|-------|--------|

- 9 空欄 [9] に該当する最も適切なものを、次の 1～4 の中から 1 つ選びなさい。

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 『詩経』 | 2. 『楚辞』 | 3. 『春秋』 | 4. 『文選』 |
|---------|---------|---------|---------|

- 10 上の a～d の短文の出来事を、左から古い年代順に並べるとどのような順序になるか、次の 1～6 の中から 1 つ選びなさい。

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. b→a→c→d | 2. b→a→d→c | 3. b→c→a→d |
| 4. c→a→b→d | 5. c→a→d→b | 6. c→d→a→b |

II モンゴル帝国の発展に関する次の文章を読み、**11**～**20**の問いに答えなさい。

12世紀に遼が滅亡した後、モンゴル高原ではさまざまな勢力が割拠していた。やがて高原東北部のモンゴル部は、テムジンが指導者になると勢力を拡大し、高原を統一した。彼は1206年、クリルタイで君主に推戴され、**12**と名乗り、支配下の遊牧民を**13**のもとに組織し、機動力に富む軍を作り上げた。

**12**の死後に即位した三男オゴタイは、金を滅ぼし華北を領有した。また彼は、軍隊を西に派遣し支配領域をさらに広げた。この征服活動により13世紀中頃までにモンゴルの支配は、東は中国東北部から西はロシア・イラン方面にまたがる巨大な領域に広がり、各地には**12**の子孫たちが治める地方政権が建てられた。

1260年、ハン位についたフビライは、自分の勢力が強い東方に支配の重点を移し、大都を都とし国号を中国風に元とした。元の時代になると駅伝制(ジャムチ)の整備が進み、東アジアからヨーロッパに至る陸路交易が活発となった。海上交易も宋代から継承して発展し、杭州・泉州・広州が繁栄した。また、元は多額の取引や輸送に便利な**18**という紙幣を発行した。

イスラーム勢力と敵対した西欧では、イスラーム諸国を圧倒したモンゴルへの関心が生じた。そのため、ローマ教皇はプラノ＝カルピニを、フランス王はルブルックを派遣した。元の時代になると、ヴェネツィア商人のマルコ＝ポーロが大都を訪れてフビライに仕えた。

14世紀になるとユーラシア全域で天災が続く、モンゴルの支配地では政権が動揺した。元の国内でも飢饉や**18**の乱発による経済混乱で民衆の生活が苦しくなったため、各地で反乱がおきた。

**11** 下線部11に関する説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. この国は、完顔阿骨打により建国された。
2. この国は、東突厥を滅ぼして勢力を拡大させた。
3. この国は、宋と和平を結び、毎年多額の銀や絹を受けとった。
4. この国は、宋の首都開封を陥落させて宋の皇族をとらえた。

**12** 空欄**12**に該当する人物に関する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。

すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

1. この人物の時代に、モンゴルはホラズム＝シャー朝を瓦解させた。
2. この人物の時代に、イブン＝バトゥータがモンゴルにやって来た。
3. この人物の時代に、モンゴルはカラコルムに都を建設した。

**13** 空欄**13**にあてはまる軍事・行政組織として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- |       |        |        |          |
|-------|--------|--------|----------|
| 1. 八旗 | 2. 府兵制 | 3. 千戸制 | 4. 猛安・謀克 |
|-------|--------|--------|----------|

**14** 下線部14に関連する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

1. ナイマンを滅ぼした。
2. ワールシュタットの戦いで勝利した。
3. バグダードを陥落させアッバース朝を滅ぼした。

**15** 下線部15に関して、地方政権とその創設者の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

1. キプチャク＝ハン国－ジュチ
2. チャガタイ＝ハン国－トゥルイ
3. イル＝ハン国－ハイドゥ

**16** 下線部16の人物に関する説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. 高麗を属国とし、日本にも遠征軍を送った。
2. 北西インドに遠征軍を送り、モンゴルの勢力を拡大させた。
3. 雲南の南詔に遠征軍を送って滅ぼした。
4. ジャワに遠征軍を送り、マジャパヒト王国を属国とした。

**17** 下線部17の都市の現在の呼称として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 開封市 | 2. 北京市 | 3. 洛陽市 | 4. 天津市 |
|--------|--------|--------|--------|

**18** 空欄 **18** にあてはまる紙幣の名称として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 交子 | 2. 会子 | 3. 交鈔 | 4. 宝鈔 |
|-------|-------|-------|-------|

**19** 下線部19の人物に関する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

1. 中国やヨーロッパを視野に含めた歴史書『集史』を編纂した。
2. 世界各国を旅し、その旅行記として『三大陸周遊記』をまとめた。
3. キリスト教の布教につとめ、大都の初代大司教に任命された。

**20** 下線部20に関する説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. 太平道による黄巾の乱がきっかけで、中国各地で反乱が拡大した。
2. 白蓮教徒による紅巾の乱がきっかけで、中国各地で反乱が拡大した。
3. 塩の密売人の黄巢が起こした反乱がきっかけで、中国各地で反乱が拡大した。
4. 李自成率いる農民反乱がきっかけで、中国各地で反乱が拡大した。

Ⅲ 次の【資料A】と【資料B】、およびそれらの【解説】を読み、**21**～**30**の問いに答えなさい。

【資料A】

ポーランドの反乱は全ロシアの女帝陛下の軍によって完全に打ち負かされ、制圧された。神聖ローマ皇帝と  
21 プロイセン王の両君主は、過去の経験から、何らかの独立を維持しながら自国のために強力な政府を作り上げ、  
22 自己の法の下で穏やかに生きていく能力がポーランド共和国には全くないと確信していたが、自分の英知に照ら  
し、隣接する三国の間でこの共和国を完全に分割することが必要であると認めた。全ロシアの女帝陛下はそのよ  
うな考え方を打ち明けられ、それが自分の見方と完全に合致することを知り、共同の決定にもとづいてそれぞれ  
23 の手に渡るべき取り分に関する問題の最終的な処理に入ることを決定した。

(出典『世界史史料6 ヨーロッパ近代社会の形成から帝国主義へ』、一部、問題作成のために修正を加えている)

【解説】

【資料A】は、いわゆるポーランド分割に関するものである。14世紀にポーランド女王とリトアニア大公との婚姻により**24**が成立し、ポーランドはこの王朝のもとで勢力を拡大した。16世紀後半に**24**が途絶えた後、選挙王制がおこなわれていたが、貴族の間で政治的な争いが絶えなくなった。これに近隣の大国が干渉するようになり、ポーランド分割の状況が生まれることとなった。

**21** 下線部21の指導者として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. ステンカ＝ラージン    2. コシューシコ    3. コシュート    4. プガチョフ

**22** 下線部22の人物に関する説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. オスマン帝国からクリミア半島を獲得した。
2. バルト海に進出して、ペテルブルクを建設した。
3. 清とネルチンスク条約を結んだ。
4. 北方戦争でスウェーデンに勝利した。

**23** 下線部23の結果、ワルシャワを得た国として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. オーストリア    2. バイエルン    3. プロイセン    4. ロシア

**24** 空欄**24**に該当する最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. ヴァロワ朝    2. シュタウフェン朝    3. ヤゲウォ朝    4. ロマノフ朝

**25** 【資料A】で示されたポーランド分割と同じ年におこった出来事として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. ヴァレンヌ逃亡事件    2. 人権宣言の採択    3. 総裁政府の樹立    4. ルイ16世の処刑

## 【資料B】

現況においては、選挙協約で課せられた義務をこの先果たしてゆけないと朕は確信するにいたった。現在の政治的混乱が速やかに收拾され、情勢は変化する可能性もあったが、しかるに、7月12日にパリで署名され、その後該当者たちによって批准された約定は、多くの主要な諸身分がこぞって帝国から離れ、<sup>26</sup>特別な連合を結成して一体化することを定めたのであって、高まった期待はまったく裏切られることとなった。この一件により朕は、<sup>27</sup>神聖ローマ皇帝の職務をこれ以上まったく遂行できないと確信した。それがゆえに、朕はこれまで担ってきた帝位を退き、これまでおこなってきた皇帝の統治を放棄することもここに宣言する。

(出典『世界史史料6 ヨーロッパ近代社会の形成から帝国主義へ』、一部、問題作成のために修正を加えている)

## 【解説】

【資料B】は、神聖ローマ皇帝フランツ2世の退位宣言の抜粋である。皇帝位を事実上、世襲していたハプスブルク家は、これ以後、オーストリア皇帝のみを称することとなった。また、神聖ローマ帝国は、この退位宣言<sup>28</sup>をもって、消滅した。ウィーン会議では、正統主義が謳われたが、神聖ローマ帝国は復活せず、**29**を議長国とするドイツ連邦が成立した。

**26** 下線部26に該当する最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. カルマル同盟      2. ドイツ関税同盟      3. ハンザ同盟      4. ライン同盟

**27** 下線部27の位についての人物として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. ヴィルヘルム2世      2. フェリペ2世      3. マリア=テレジア      4. ヨーゼフ2世

**28** 下線部28の出身の人物として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. ドイツ帝国の皇帝に即位したヴィルヘルム1世  
2. スペイン王に即位したカルロス1世  
3. レヒフェルトの戦いで勝利したオットー1世  
4. 第3回十字軍に参加したフリードリヒ1世

**29** 空欄**29**に該当する最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. オーストリア      2. ザクセン      3. フランクフルト      4. プロイセン

**30** 【資料B】で示された退位宣言と同じ年におこった出来事として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. アミアンの和約      2. 統領政府の樹立  
3. 大陸封鎖令の発布      4. テルミドールの9日のクーデタ

IV 第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる戦間期の政治・社会に関する次の略年表をみて、問1、問2に答えなさい。

西 暦	出 来 事
1919年	① 31 <u>パリ講和会議の開催</u>
1920年	② ポーランドが <b>32</b> に侵入，ソビエト政権と開戦
1927年	③ <b>33</b> によるインドネシア国民党結成
1932年	④ 34 <u>満州国の建国宣言</u>
1933年	35 <u>ヒトラーを首班とする政権の成立</u>
1936年	⑤ 36 <u>スペイン内戦の開始</u>
1938年	⑥ 37 <u>ミュンヘン会談の開催</u>
	⑦

問1 上の略年表中の下線部または空欄に関する **31** ~ **37** の問いに答えなさい。

**31** 下線部31に関する説明として最も適切なものを、次の1~4の中から1つ選びなさい。

1. 中国政府は日本による二十一カ条の要求の取消しを提訴し、認められた。
2. 日本は赤道以北のドイツ領南洋諸島の委任統治権を認められた。
3. 1918年、セオドア＝ローズベルトは講和の基礎となる十四カ条を発表した。
4. 戦勝国となったイタリアはリビア・エリトリアなどを獲得した。

**32** 空欄 **32** に該当する最も適切なものを、次の1~4の中から1つ選びなさい。

- |          |          |          |         |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. ルーマニア | 2. ウクライナ | 3. ハンガリー | 4. セルビア |
|----------|----------|----------|---------|

**33** 空欄 **33** に該当する人名として最も適切なものを、次の1~4の中から1つ選びなさい。

- |         |         |           |            |
|---------|---------|-----------|------------|
| 1. スカルノ | 2. スハルト | 3. アウン＝サン | 4. ホー＝チ＝ミン |
|---------|---------|-----------|------------|

**34** 下線部34に関連する説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. 日本は国際連盟を脱退し、済南事件をおこした。
2. 関東軍は北京で袁世凱の乗る列車を爆破して殺害した。
3. 関東軍は奉天郊外の柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破した。
4. 満州国の執政として、大韓帝国の皇帝が就任した。

**35** 下線部35に関連する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

1. この政権樹立前にヒトラーはベルリンで一揆を試みたが失敗に終わった。
2. ユダヤ人やロマ、精神・身体障害者に対する迫害がおこなわれた。
3. 1935年、住民投票にもとづいてアルザス・ロレーヌ地方を併合した。

**36** 下線部36に関する説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. この内戦の結果、ブルムを首相とする人民戦線政府が成立した。
2. この内戦に際して、イギリスとフランスは人民戦線政府を積極的に支援した。
3. この内戦に際して、ドイツとソ連はフランコ将軍を積極的に支援した。
4. アメリカの作家ヘミングウェイは民間人による国際義勇軍に参加した。

**37** 下線部37に参加した英仏の首脳の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. 英：チャーチル — 仏：ダラディエ
2. 英：ネヴィル＝チェンバレン — 仏：ダラディエ
3. 英：チャーチル — 仏：ペタン
4. 英：ネヴィル＝チェンバレン — 仏：ペタン

問2 次の**38**～**40**の出来事が起こった時期として最も適切なものを、前ページの略年表中の①～⑦の中から1つ選びなさい。

**38** 新インド統治法の制定

**39** アメリカのウォール街で株価が大暴落、世界恐慌が始まる

**40** ワシントン会議の開催